



流域関連伊勢市公共下水道 事業評価



令和2年7月28日（火）

上下水道部 下水道建設課
環境生活部 環境課

清らかな森と水のまちづくり、いせの水環境再生計画
【地方創生汚水処理施設整備推進交付金】（内閣府）



事後評価

H31.1.16 本審議会にて中間評価

おかげさまの心を通じて交わるまちづくり（重点計画）
【社会資本整備総合交付金】（国土交通省）



R2.2.20 本審議会にて中間評価

整備中
（今回は対象外で、R3 事後評価（予定））

計画期間:平成27年度～令和元年度
事業費:5,565百万円

取組み内容

(ハード事業)

- ①公共下水道事業 26,560m
- ②個別設置型浄化槽整備事業
2,225基

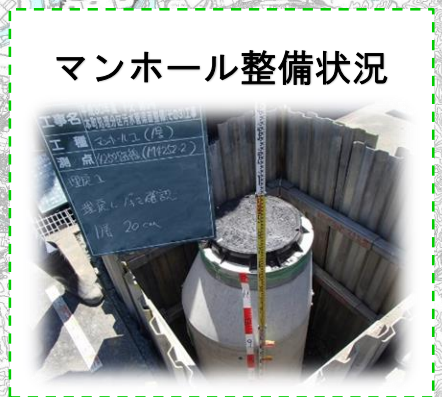
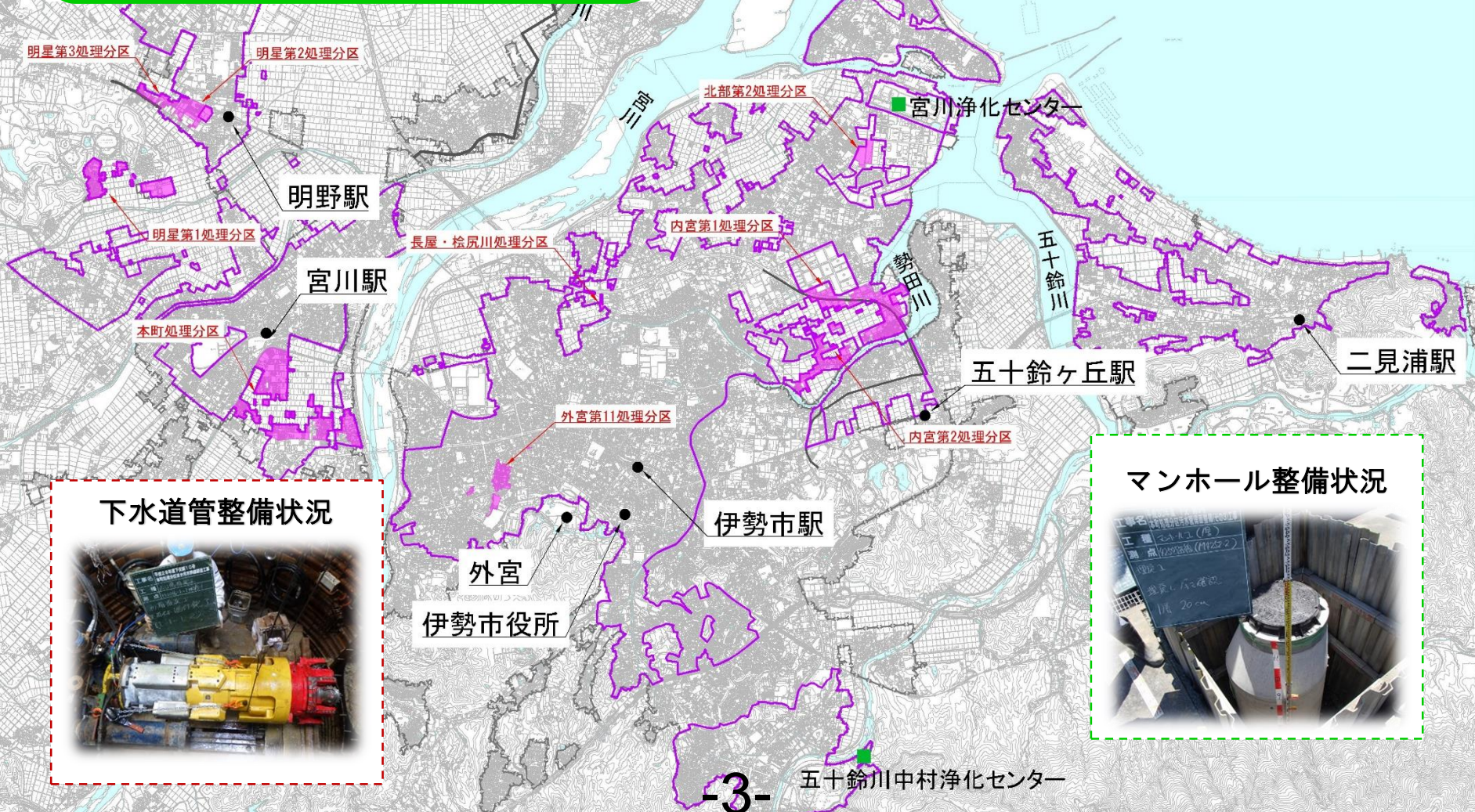
(ソフト事業)

- ①地域コミュニティによる河川清掃
- ②小学校における汚水普及啓発

ハード事業

- ① 公共下水道事業
- ② 個別設置型浄化槽整備事業

凡例	
	事業認可区域
	処理場
	公共下水道事業で整備を行った区域



ソフト事業

①地域コミュニティ による河川清掃



勢田川七夕大そうじ

②小学校における 汚水普及啓発



参考資料

に対する評価について（事後評価）

事業実施主体	伊勢市	地域再生計画名	伊勢市「清らかな森と水のまちづくり、いせの水環境再生計画」
平成31年度 評価責任者	伊勢市環境生活部長 藤本 宏		

①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		達成状況に関する評価			
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標指数	達成数				
	指標 1	汚水処理人口普及率	65.7%	H25	75.6%	H29	74.3%	85.80%	H31	78.1%	×	指標指数 達成数	汚水処理施設整備交付金の活用により、概ね整備を進めることはできたが、浄化槽の申込み件数が伸びなかったため、目標値に達しなかった。	
	指標 2	勢田川（勢田大橋）のBOD（生物化学的酸素要求量）75%値	4.7mg/ℓ	H25	4.0n				H31	3.6mg/ℓ	×	3	1	勢田川のBODは年間を通じて0.9～18.5mg/ℓまで変化をする。その原因は干満の影響や少ない自己水源、生活排水の流入があり、採水のタイミングによって大きく数値が変化する。長年の河川汚濁により河底にヘドロが堆積しているため、水洗化人口の増加がすぐに河川環境に影響を与えない。目標値は達成しなかったが、環境基準（5.0mg/ℓ）を達成し、下水道と合併処理浄化槽の整備により徐々に水質は改善傾向にあり、悪臭が抑えられている。川沿いにはレストランができたり、カヤックに乗って勢田川で遊ぶ方々もいて、汚水処理施設整備前に比べて、より親しみやすい河川になっている。 ※H31水質は平成31年度値（H31.1～R1.12）
	指標 3	伊勢神宮への参拝者数	804万人	H24	800万人	H29	880万人	800万人	H31	973万人	○			天皇陛下両陛下の伊勢への二度の行幸啓や改元を機に伊勢市や伊勢神宮に関する報道が増加したことにより、伊勢神宮への参拝者が増加した。また、汚水処理施設の整備により観光地における周辺環境および周辺河川水質が向上したことが観光客の増加にも寄与したと考えられる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1													

指標

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			目標の達成に対する評価及び今後の対応
		計画	中間年度	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長、処理場）	26,560m	11,450m	26,172m	円滑に整備を進めることで、生活環境の改善に繋げることができた。今後も、水・環境を守り住みよいまちとするため、下水道整備を推進し汚水処理人口普及率の向上に努める。
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基數）	2,225基	776基		込んだが、新築件数が減ったこともあり、申込み件数が伸びなかった。自治会へ単独の周知を実施し、今後も啓発に努める。
その他の事業	地域コミュニティによる河川清掃	年に1回、勢田川沿川清掃を実施			ただし、概ね好評であった。今後も継続して実施したい。
	小学校における汚水処理啓発	市民団体である伊勢市環境会議と協同して生活排水の啓発を市内小学校で「水生生物による水質調査」や「アクリルたわしづくり」等の出前講座を実施した。			出前講座を実施して小学生に勢田川の水環境や生活排水対策について学んでもらった。また、勢田川に生息する生き物に興味を持ってもらうこともでき、概ね好評であった。今後も継続して実施したい。
	自治会への浄化槽設置整備事業補助金説明会	浄化槽整備区域における自治会に対し、浄化槽補助金制度と生活排水対策について実施し、補助金活用の促進と啓発活動を行った。			浄化槽設置整備事業補助金制度や生活排水対策、合併処理浄化槽について自治会向けの説明会を実施し、後日説明会出席者から補助金制度を活用した合併処理浄化槽設置があった。今後も継続的に説明会を実施し、補助金活用の促進をして生活排水対策につなげる。

取組み内容

評価

④評価方法	上下水道事業審議会にて評価（※R2年7月28日開催予定）
⑤事後評価の公表方法	伊勢市環境課のホームページに掲載
⑥計画全体の総合評価	公共下水道事業は概ね整備を進めることができた。一方で、合併処理浄化槽は、河川水質については近年、環境基準値（BOD：5.0mg/ℓ）を下回る傾向にあり、水生生物調査も実施できるほど改善してきている。要があると予想していたが、申込み件数が伸びなかったこともあり、整備量が計画より少なくなってしまった。
⑦今後の方針等	市の広報やホームページ、自治会への周知活動等により浄化槽補助金の啓発に努め、浄化槽整備量を増やしていきたい。また、勢田川における清掃活動や水生生物による水質調査、生活排水対策啓発等を市民団体と取り組みソフト対策も一層強化していく。

事業の目標達成状況



項目指標	(H25) 基準値	(H29) 中間目標値	(R1) 最終目標値	評価
		中間実績値	最終実績値	
1-1 汚水処理人口 普及率 (※)	65.7%	75.6%	85.8%	×
		74.3%	78.1%	
1-2 勢田川の水質改善 (BOD※)	4.7mg/ℓ	4.0mg/ℓ	3.0mg/ℓ	×
		5.4mg/ℓ	3.6mg/ℓ	
1-3 伊勢神宮への 参拝者数(※)	804万人	800万人	800万人	○
		880万人	973万人	

※汚水処理人口普及率

$$= (\text{下水道処理人口} + \text{合併処理浄化槽人口}) / \text{行政区域内人口} \times 100$$

※BODの値

微生物がよごれ(有機物など)をたべて消費する酸素の量で汚れの度合を示す指標の一つ
(生物化学的酸素要求量数値)

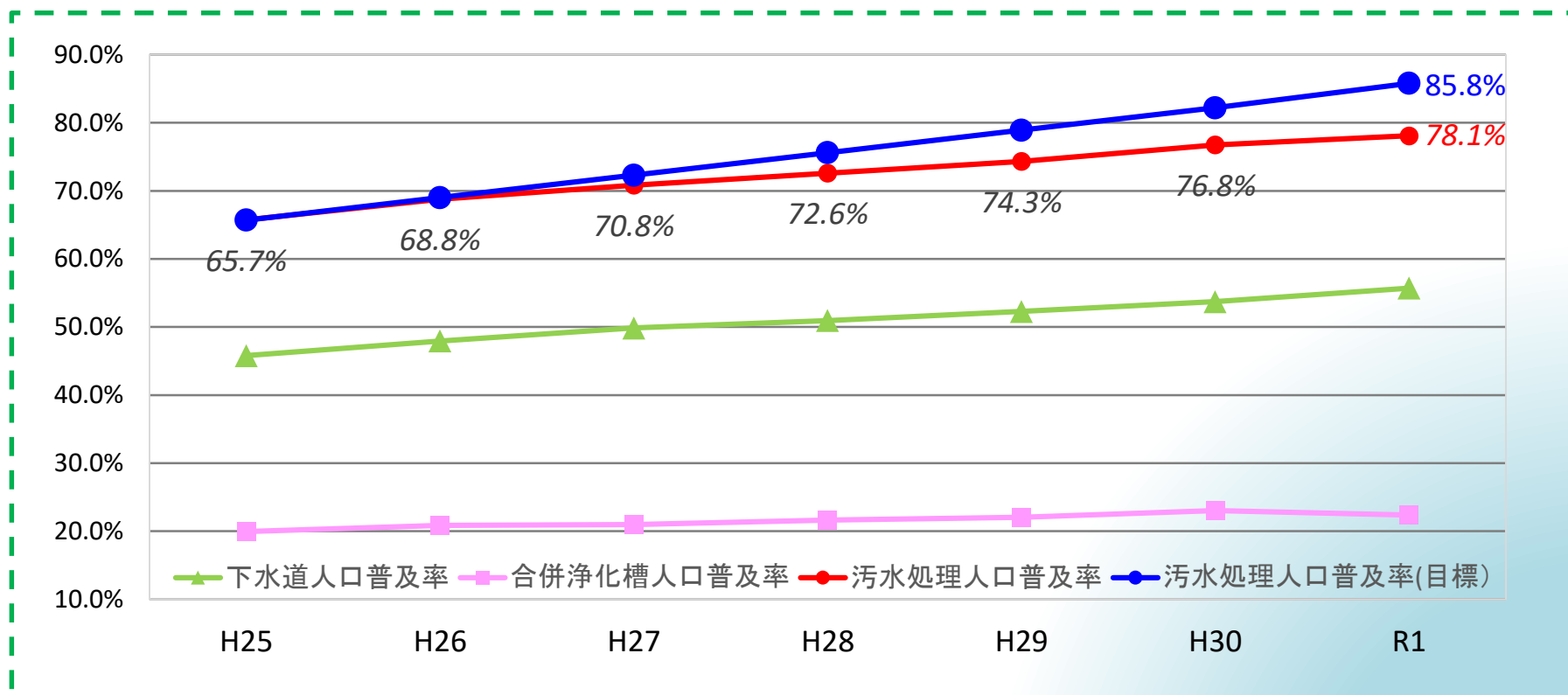
※伊勢神宮への参拝者数における基準値

基準値は、H24の調査結果を用いている。



(1-1 汚水処理人口普及率)

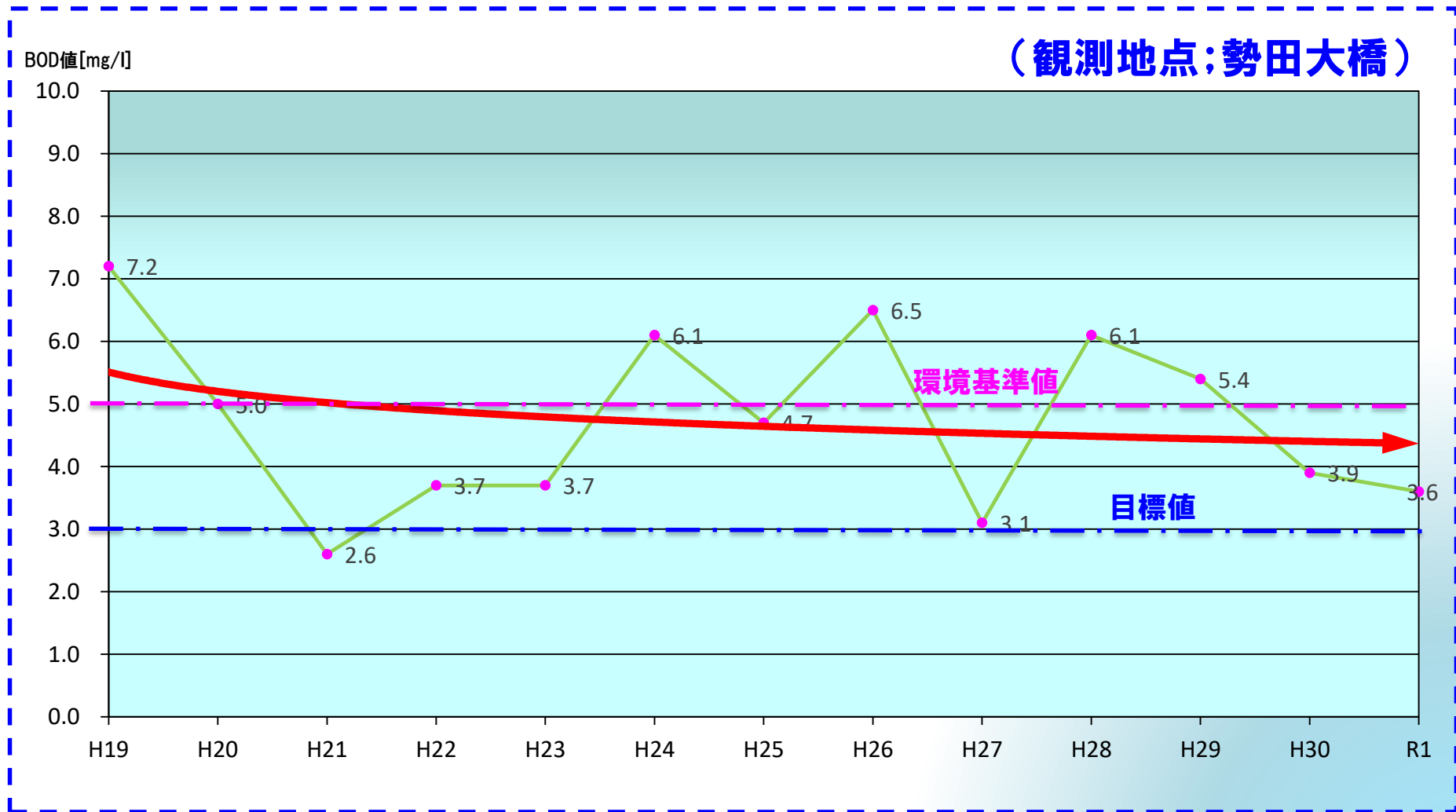
ハード事業	目標	実績	達成率
①公共下水道事業	26,560m	26,172m	98.5%
②個別設置型浄化槽整備事業	2,225基	1,185基	53.3%



※汚水処理人口普及率

$$= (\text{下水道処理人口} + \text{合併処理浄化槽人口}) / \text{行政区域内人口} \times 100$$

(1-2 勢田川の水質改善)

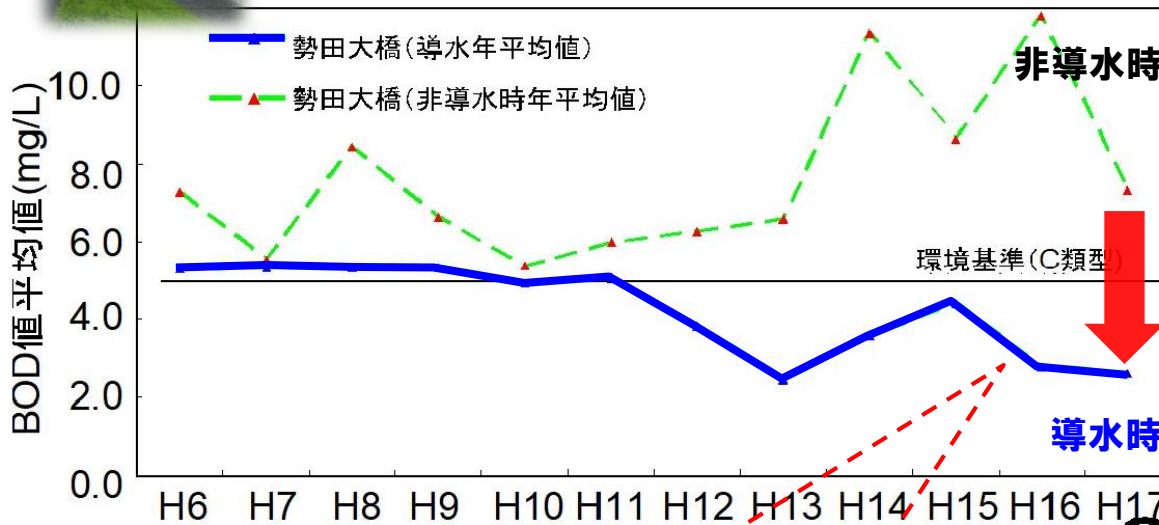


(1-2 勢田川の水質改善)

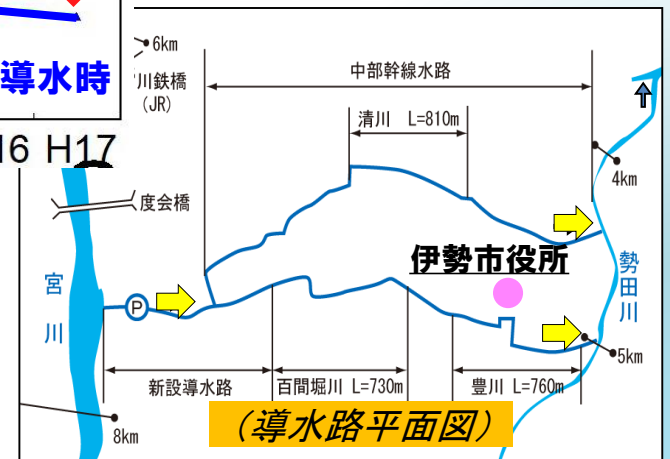
※国土交通省HPより抜粋

～勢田川導水事業～
H5.10より稼働

宮川の水をポンプで汲み上げ、市街地を流れる水路をとって、勢田川へ流しています。



非導水時に比べ、導水時は水質が改善されている。



【自己評価】

公共下水道事業は予定どおり整備を進めることができた一方、合併処理浄化槽の申込み件数が少なかったため、汚水処理人口普及率の目標は達成することができなかった。

また、河川の水質については、目標値には達しなかったが、環境基準値(BOD: 5.0mg/ℓ)を下回っており、水生生物調査も実施できるほど改善してきている。

